



# 業界セミナー 「2024年 働く環境が変化した物流業界」

ゲスト講師

沖縄ヤマト運輸株式会社  
人事戦略課 課長 與那嶺 真一郎 氏



今年、働き方が大きく変わる物流業界！

仕事内容や労働環境の変化について知る「業界セミナー」を開催しました。

沖縄ヤマト運輸株式会社の與那嶺さんをお招きし、物流や配送業の仕事内容や様々な取り組みについてお話しいただきました。その一部をご紹介します。

## 物流業界について

はじめに、物流業界とは・・・人と商品を目的地まで運ぶ業界で、配送料や運送手数料が主な収益となります。大きくは（陸上輸送）（航空輸送）（海上輸送）（鉄道輸送）（倉庫）に分けられます。沖縄県では長距離の陸上輸送はありませんが、到着するまでの過程では全ての輸送経路が使われていることが殆どです。

## ニュースで聞く2024年問題とは??

自動車運転業務の時間外労働が年間で960時間に制限されることによって起こる様々な問題の総称をいいます。これまで物流（運送）業界では、若手人材の不足やECサイトの急激な普及による宅配便の個数増加でドライバーの長時間労働が常態化していました。働き方改革関連法のもと2024年4月より、年間の時間外労働に上限が設けられたことにより各企業が労働環境の改善を図るために取り組みを始めているのですが、そこには幾つかの問題点が挙がっているということです。



(セミナーの様子)

## 主な問題点として

### ・物流、運送業界の収益の減少

時間外労働の規制により、1日に運べる荷物の個数が減ると収益維持のためには配送料を上げなければいけないのですが簡単にできることではないため、結果的に収益減になってしまう可能性があります。

### ・労働時間の規制により収入が減少

一般的に、ドライバーの給料は走行距離に比例することが多いため、規制により過度な時間外労働が改善される一方で収入が頭打ちになってしまうという問題があります。